

## 第 24 回 APEC 首脳宣言骨子

平成 28 年 11 月 20 日  
外務省・経済産業省

### 1. 前文

- 「質の高い成長と人間開発」のテーマの下，地域経済統合と質の高い成長，地域食料市場の強化，零細・中小企業の近代化及び人材開発を優先課題とした取組に焦点。
- いくつかのエコノミーにおける不平等，不均等な成長，環境の悪化，気候変動に伴うリスクが，持続可能な発展への展望に影響を与え，将来への不確実性を高めている。グローバル化や関連した統合プロセスが問われている。
- APEC が，協力を通じて喫緊の課題に取り組むことのできるフォーラムとして，また将来のアイデアを生み出すインキュベーターとして，グローバルなリーダーシップを維持できるよう努力することを約束。

### 2. 質の高い成長及び人間開発

- 「2010 年首脳の成長戦略」で描かれた質の高い成長を追求する重要性により焦点を当てるため，APEC 地域における均衡ある，包摂的で，持続可能な，革新的で，安全な成長に向けた野心を再確認。
- 「APEC 教育戦略」の原則に基づき，アジア太平洋地域における教育向上のために協働することを奨励。
- 女性の起業家精神の支援，女性主導の零細・中小企業の成長，女性のデジタル・リテラシー強化，女性のキャリア開発促進，STEM（科学，技術，工学，数学）教育及び職業へのアクセス強化，女性の経済参画を阻害しかねない保健関連の障壁に対処する努力を歓迎。
- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成に向け，強靱かつ持続可能な保健システム促進の重要性を強調。

### 3. 現在の世界状況下における自由貿易・投資の課題と機会

- グローバルな需要と供給上の制約に対処するため，金融，財政政策及び構造改革といった全ての政策手段を用いることに引き続きコミット。
- 貿易，投資及び開かれた市場の恩恵をより良く説明するため，また，これらの恩恵が幅広く行き渡ることを確たるものにするため，社会のあらゆるセクターに働きかける必要性を認識。
- 2020 年末までの延長に合意したスタンスティルへのコミットメント及び保護主義・貿易歪曲措置のロールバックを通じ，あらゆる形態の保護主義に対抗するとのコミットメントを再確認。
- WTO 貿易円滑化協定（TFA）の各エコノミーによる受諾通告の進捗を歓迎し，早期発効を支持。
- 環境物品協定（EGA）交渉の参加メンバーは，同交渉の 2016 年末までの妥結に向けて更に努力することを再確認。
- 「構造改革のための APEC 改訂アジェンダ（RAASR）」に沿って実施される各エコノミーの構造改革を深化させる具体的な取組を奨励。
- アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）の最終的な実現に向けたコミットメントを再確認。「FTAAP の実現に関連する課題にかかる共同の戦略的研究」を承認し，同研究に係る提言を「FTAAP に関するリマ宣言」として承認。
- 「リマ宣言」の実施とともに，同研究等に基づき，FTAAP の最終的な実現に向けた次のステップを検討するよう実務者に指示。

- 「ボゴール目標」に向けた進捗評価を歓迎し、非関税措置、APEC 域内における貿易の停滞、失業を含むアジア太平洋地域における進展の不均等な領域について作業を行うことを実務者に指示。
- 「ボゴール目標」の目標年を4年後に控え、ポスト2020年のAPECに関する一連のハイレベル対話を開始したペルーのイニシアティブを称賛。このプロセスを2020年まで毎年継続することを実務者に指示。
- 「APEC サービス競争力ロードマップ」を承認。貿易の成長を制約する要素に対処しつつ、合意した目標を達成するための具体的な方策をとり、進捗を管理・評価するよう実務者に指示。
- デジタル貿易に関する作業の次のステップの承認を歓迎。デジタル貿易分野での経済成長の潜在力を探る各エコノミーのイニシアティブを歓迎。APEC 越境プライバシールシステム（CBPR）の実施の重要性を確認。
- 零細・中小企業が質の高い成長と繁栄の実現にとって不可欠な要素であることを認識。
- 裾野産業イニシアティブを歓迎し、2017年の実施を期待。
- グローバル・バリュー・チェーン（GVCs）の発展、サプライ・チェーン連結性及びその強靱性を推進することを決意。GVCsにおける途上エコノミー及び零細・中小企業の更なる参加、より大きな付加価値及び地位の向上を可能にする努力を奨励。
- エネルギーへのアクセス、エネルギー安全保障が、繁栄と地域の将来にとって重要であることを認識。安定的で透明性のある世界のエネルギー市場の重要性を強調。

#### 4. APEC 地域で真に機能する連結性に向けて

- 持続的な経済成長にとっての質の高いインフラの重要性を再確認。これまでのAPECの作業で特定された質の高いインフラを実現するための重要要素に基づき、情報通信技術、エネルギー及び輸送インフラを含む主要なセクターにおいて、コンセプトを具体的な行動に移していくことにコミット。

#### 5. 食料安全保障、気候変動への適応、水資源へのアクセス

- 持続可能な農業促進、食料市場の強化、食料生産者の食料サプライチェーン・バリューチェーンへの統合等を通じ、APECは食料安全保障の課題への対処に貢献可能と認識。
- 気候変動が食料生産及び食料安全保障にとって主要な課題であり、各エコノミーにおいて食料安全保障と気候変動の関係に対処する政策の実施についての協力強化にコミット。
- 水は、農業開発の主要な推進力であり、社会経済開発のための基本的な要素であることを認識。水資源の持続可能な利用と統合的管理のための協力を促進。
- 食料安全保障の根底にある社会経済的な要因の重要性を認識。農村と都市の発展に関する包括的なアプローチに向けた取組を目指す。

#### 6. 今後に向けて

- あらゆる形態のテロ行為を強く非難。自由で開かれた経済を支える我々の基本的な価値に対してテロ行為がもたらす深刻な脅威を認識。APECエコノミーが行動を継続することを奨励。
- 腐敗行為防止の行動を奨励。
- 2017年にベトナムで再会することを期待。

(附属書 A) FTAAP に関するリマ宣言

(附属書 B) APEC サービス競争力ロードマップ